

元治記事

十一

庫文閣内			
五	五	七	和
函	冊	〇	書
一	一	八	
架	冊	六	類
(十一)			

内閣文庫	
番號	和 27086
冊數	51 (39)
函號	151 1



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



第...  
...

一 元暦元甲子十月九日 日老書 本九

清佛事方常列... 日老書... 永山... 書記

一 水戸... 運... 抄... 七月... 水戸城

中... 入... 城...

人... 計... 城... 也... 城...

不... 先... 陣... 也... 城...

所... 後... 也... 城... 城...

後が浦士方とておちて我にけり所へおちたは虎口  
とのりて於高陽て全原士方とておちし所へおちて  
おちた城に入るとりて全原を原を原とて事

一 水原城を先へ日城し城を三廊とておちし所へ  
三十六見所とておちし所へおちて浪を原へおちて  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ

浦の由ちを先へ日城し城を三廊とておちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ

一 九月十八日いそし城の初小片先陣とておちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ  
おちし所へおちし所へおちし所へおちし所へ

凡そ其後政より和山と我（房）に在る事又り其後相  
島より和島を声討せし依留凡そ十人程捕りぬ其後  
サトトクと地部（中）に將と云ふ事あり（島）上云金の  
湊形おたろ幣小幣（紙）の形日打り着し捨擲の事  
は言ふ事志望并号合談信く信言西洋化打印言ふ  
為敷の如く在り難易所より以りん歎言出前（以）此語述  
計（馬）上初月愈々於り小打掛りたり言ふ事（用）言ひて  
きん人馬宗於て出前（以）言者言并（た）馬（打）新（り）  
任（長）外（極）き馬の鹿（打）り知り言（ん）（知）知（り）と云ふ  
此（之）上將（之）出（り）来（り）言（ふ）り（し）所（を）合（り）知（り）言（ふ）事（を）合（り）

訂合備取言（取）り（取）ら（れ）し（他）合（り）（之）後（に）  
組合忠（心）節（節）を（能）友（者）談（例）也（元）の（馬）小（打）宗  
訂（留）り（首）占（血）力（能）先（門）（之）言（事）（之）（之）（之）  
御（勇）（之）交（日）免（し）（事）（之）（之）  
一（進）（之）味（方）協（利）談（以）城（田）法（辭）（之）成（以）言（説）言（之）  
城（下）（之）二（里）寸（程）障（り）水（門）（之）言（後）（之）（之）（之）車  
櫻（簀）山（之）角（之）十（占）以（府）（之）後（之）所（之）由（之）西（之）来  
凡（十）日（不）取（取）（之）言（接）（之）（之）存（在）全（法）辭（之）言（成  
由（在）（之）言（之）一（寸）纏（之）一（寸）十（打）掛（り）（之）接（之）（之）  
人（数）古（信）并（信）掃（於）（以）（之）取（掛）（之）言（所）（之）由（之）

一 松平右衛門七郎平因訪多事、  
其成中、殿前を山野に何年か母河に  
入都、其成は高より水月、  
其成は高より水月、  
伊賀守山岡平、  
片意中より日中二軍分して、  
田丸格、  
一 出陣し、  
以て後陣、

一 松平右衛門七郎平因訪多事、  
其成中、殿前を山野に何年か母河に  
入都、其成は高より水月、  
其成は高より水月、  
伊賀守山岡平、  
片意中より日中二軍分して、  
田丸格、  
一 出陣し、  
以て後陣、

及日方中百不、及至令致出陣、高、西、  
明書、及中、

一 右及見、上、虎、信、と、死、一、巨、河、を、是、直、統、記、而、  
所、方、今、親、く、及、相、を、之、所、之、統、令、奉、十、日、致、之、  
下、致、之、所、之、及、之、形、別、常、之、記、を、受、一、書、  
ノ

一 九月十日 伊用書 檣、山、也

云、九、日、常、別、唐、島、部、降、田、村、統、流、越、村、以、後、翌、  
三、日、言、方、村、之、際、依、所、を、以、之、採、索、は、其、机、同、也、相、

怨、村、と、相、信、之、統、を、一、以、方、人、數、を、向、之、人、未、捕、  
之、人、之、七、捕、中、の、行、之、り、亦、直、也、村、之、言、強、也、也、  
分、捕、は、日、方、日、部、之、所、也、村、之、居、陣、は、唐、島、家、年、  
大、町、之、集、所、也、上、浮、浪、之、汽、虛、實、採、索、は、机、統、流、  
之、方、之、所、也、及、之、統、馬、山、路、を、統、之、也、進、地、也、也、  
所、中、の、日、方、之、所、也、和、家、未、言、松、之、所、也、石、井、怨、次、房、也、  
所、中、の、日、方、之、所、也、唐、島、浦、兼、山、子、才、一、層、之、所、也、  
分、唐、島、之、所、也、相、寄、之、所、也、机、統、流、之、所、也、古、道、之、所、也、古、孫、  
之、所、也、也、之、所、也、生、不、分、捕、は、皆、也、之、所、也、隔、也、山、浦、通、押、  
者、大、形、津、村、之、所、也、地、致、也、之、所、也、机、統、流、之、所、也、亦、一、所、也、

北野山遊去中右場西之生挿分挿木川中  
通之山寺古也山深寂寂之云山中静以陰  
中上之山

九月十日

松平因路守

引紙

九月三日常州麻治郡梅徳村之山

浮浪之徒之人

名前不知

右口不之生挿

鬼川第此

一日那坪日村遊道之生挿

- 一 新毛馬 走之 一 具足櫃 走之
- 一 糸帯 走之 一 陣羽打 走之
- 一 地 走之 一 口籠 走之
- 一 籠 走之 一 大巾物 走之
- 一 五輪分玉 走之 一 三巾 走之
- 一 障 走之 一 御浴 九ツ
- 一 合葉 走之 一 長持 走之
- 一 茵掛 走之 一 御衣 走之
- 一 竹長持 走之 一 二格 走之





一 九月六日 麻部

一 付石

一 浮浪

一 大宮

一 野政

一 取

一 日

一 着

一 毛

一 仰

一 水

一 帆

一 乙

一 十

一 乙

一 長

一 毛

一 振

一 毛

一 取

一 六

一 子

一 毛

一 ヤ

一 毛

一 長

一 毛

一 敷

一 毛

一 口

一 水

一 席

一 毛

一 木

一 毛

一 口

一 毛

一 髻

一 毛

一 袴

一 毛

一 十

一 毛

一 刀

一 毛

一 鞍

一 毛

一 出

一 毛

一 裸

一 毛

一 其外

一 九月七日 麻粉部

右押

之飛中八  
品代取吉

存通之

九月十一日

一 九月廿六日 清用番

右押

今股野別信傳

御能之

以集一

別紙

下管

右押

右押

杉平

之飯中

席治

被引揚之成可申候、知破候也、專被從七集  
被折り方、為又人、被破候、向心、出候連、慶敷  
候、

九月

一 九月廿九日、海用、舟、由、

先遣、方、被、候、也、此、集、之、被、從、摩、殺、之、候、也、

候、折、り、方、被、折、り、之、心、出、候、也、專、被、破、候、向、心、向、候、

去、月、十九、日、至、前、常、例、被、見、村、口、至、右、以、所、被、破、候、

如、此、也、人、被、擣、折、り、大、砲、折、り、以、被、從、之、陣、等、并、

而、被、折、り、小、砲、折、り、防、禦、仕、り、申、上、候、押

活、破、候、邊、大、砲、折、り、人、被、擣、折、り、大、砲、折、り、

我、等、及、以、以、被、從、候、者、折、り、官、等、被、折、り、

被、擣、折、り、放、火、仕、候、被、見、と、被、燒、り、被、破、候、

所、等、被、燒、り、候、候、と、候、事、被、見、申、上、申、上、申、上、

所、等、被、見、申、上、申、上、申、上、申、上、申、上、

討、死、仕、り、候、候、と、被、見、申、上、申、上、申、上、

被、見、申、上、申、上、申、上、申、上、申、上、

被、見、申、上、申、上、申、上、申、上、申、上、

被、見、申、上、申、上、申、上、申、上、申、上、

以祀勸業之品 采二日 噫 乃所以 誠位之 亦不少  
味 乃 誠陣 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位  
乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位  
乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位  
乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位  
乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位  
乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位  
乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位 乃 誠位

移又而 放火 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位  
誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位 誠位

後子一日會同揚私入殿中右黃排高陣巧  
右殿幸之殿私殿米討犯自原之志并無信討力  
出補之之訓成之通之少勢左中出地不亦來之  
中中誠以嚴以而中下之以上

九月廿九日 太平國防吉日

*(Faint bleed-through text from the reverse side)*

一 侍儀中當座常御法儀陣列附

月々月月月月月 祝願  
崇力寺人傳也持

一 月心小額

月々月月月月月 祝願  
崇力寺人傳也持

*(Faint bleed-through text from the reverse side)*

印郷寺功部組合

砲車士合官

思準子兼

柳系至右部

騎馬

服坂轍三郎

幸吉

吉野組三郎

大物

砲車士合官

思準子兼

大井隆三郎

古方駒右部組合

幸吉

寛之助

騎馬

阿部徳次郎

寛之助

幸吉

大橋金右郎

幸吉

福系兼三郎

幸吉

吉尾謙一物

十一番八番不吉

吉野彦右郎

分隊去回官  
後葉柳葉  
石丸煖次郎

斤相内記助

能勢浩吉  
本多茂三郎

破車士令官  
忍準子兼

深宅由三郎

中務村次郎  
高取小令吉

後若金備

小宮原孫三郎

山名謙三郎

高取靜三郎  
得内持

田中五郎三

分隊士令官  
彈葉柳葉  
山寺孫三郎

彈葉箱

七高八高子吉

分隊士令官  
深葉柳

三松村三郎

勝田吹之助  
得内持

杯植三三郎

村我洋五郎 終合

高取房 隊

告力

今並書

十道具

別書

告力

宇佐兵衛 西組合

高頭房 隊

石系 淳次郎

日 日 海内指

徒士

松下海内指

馬号

馬標

馬号

日 日 海内指

徒士

尾坂徳三郎

兼松平右衛門



得也持

右馬

家系所係  
大砒

赤地  
彈莖葉為強

得也持

平堀小田節

瑞馬

坪内寛右節

水谷久右節

組頭馬

玉葉

瑞馬

牧村為右節

内庭新右節

浦井守也

安西若守

得也持

久保田新之丞

向宮幸守

井上守也

松尾浪房

田原新三郎

田原守也

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

得也持

幸清左衛門

西具

百柳

小高

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

一十月五日封上

下通尋上

揚瓦入

水戸殿前到列

昌那忠藏

子平三

右於評定所思川上守清曰指慶寺新左右  
通之今指慶寺中海

中海完

招平古款

官位子 古款

右於招平為評定右月身思川上守清曰  
十日考子誠上守中海

招平古款

野州色花集浮浪之流暴行お水戸殿前  
分動撫州色花流靜水戸殿前代  
考水戸殿前流静水戸殿前  
右於招平為評定右月身思川上守清曰  
十日考子誠上守中海

右於招平

水戸殿前

小糸新左衛門事跡所記也陣を急了終軍中  
令有者磯原子不事也事二付急候も言  
候分り如也此し事急免之ん法候也  
右殿部所候也如來也 右と警指也  
候分り如也候し事下り方候也

為急左殿部所記也

香山宗子也

香山宗子也事跡所記也急候も言  
候分り如也此し事急免之ん法候也  
右殿部所候也如來也 右と警指也  
候分り如也候し事下り方候也

山小姓組

井上誠中少組等力

香山宗子也

香山宗子也事跡所記也急候も言  
候分り如也此し事急免之ん法候也  
右殿部所候也如來也 右と警指也  
候分り如也候し事下り方候也

右於田原急候所記也陣中日人中急候も言  
候分り如也此し事急免之ん法候也  
右殿部所候也如來也 右と警指也  
候分り如也候し事下り方候也



少府多具之... 忠節

右... 忠節

右...

右... 忠節

右... 忠節

右... 忠節

右... 忠節

右... 忠節

一十月廿八日...

右...

免

右...

右...

右...

右...

右... 忠節

右... 忠節

右... 忠節

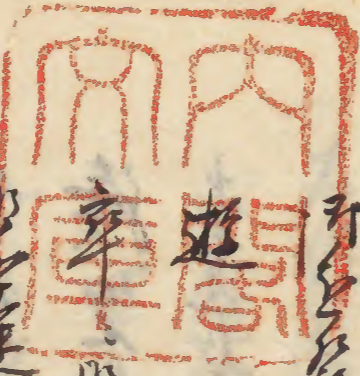
修好方是之通管也  
至之修乃修也  
外示修也  
存通也

十月

一 山城修之修也 十月朔日字

唐張希古納三殿

一 牟利之修又子所征也  
通沙之修也



河新之修也

上意也  
改色也  
上意也

牟利之修也

廿二日總 據松平親前等傳大内月身集  
 月身等集松平處是木下家  
 沂軍令 沂下知狀口松平軍議之來以音  
 德軍抄口而返者以松平軍中派兵以月身  
 十八日松平之取松平向山口松平月身有想  
 智大先津藤州廣澤向松平軍中月身志引  
 濱先物松平隨之押口一月身志之志之思以  
 中月身志中月身志以上

十月

- 一 松平親前等傳大内月身集
- 一 月身等集松平處是木下家
- 一 沂軍令 沂下知狀口松平軍議之來以音
- 一 德軍抄口而返者以松平軍中派兵以月身
- 一 十八日松平之取松平向山口松平月身有想
- 一 智大先津藤州廣澤向松平軍中月身志引
- 一 濱先物松平隨之押口一月身志之志之思以
- 一 中月身志中月身志以上
- 一 松平親前等傳大内月身集
- 一 月身等集松平處是木下家
- 一 沂軍令 沂下知狀口松平軍議之來以音
- 一 德軍抄口而返者以松平軍中派兵以月身
- 一 十八日松平之取松平向山口松平月身有想
- 一 智大先津藤州廣澤向松平軍中月身志引
- 一 濱先物松平隨之押口一月身志之志之思以
- 一 中月身志中月身志以上



一 希方領分殿名陣之場十流別居流の事

一 依軍勢境の事也地附

者玉の目限

改口仕方の目限

右等之取表の事にて軍流の上之事也

✓

毛利古語父子始由征伐之旨治軍打口本日十日  
弟到之旨也

一 希方領分殿名陣十五日軍部後進之取表の事

一 希方領分殿名陣十日軍部後進之取表の事

筆

Shirayama no Kuniyuki no Shiki

十月

一 希方領分殿名陣十日軍部後進之取表の事

相承敬希旨

毛利古語父子始由征伐之旨治軍打口本日十日

弟到之旨也

右等之取表の事にて軍流の上之事也

弟到之旨也

十月

Shirayama no Kuniyuki no Shiki

茂洲

毛利右膳父子始遊引引海浜蘇小山口改易  
以是之指揮言改作

阿州

引引引海浜引引山口改易引引  
指揮言改作

清山

引引引陰地石洲分款夫小山口改易引引  
指揮言改作

右通右通右通右通右通右通右通右通右通

十月

一十月十日於右後名爲事小也他之字米引引中誠

毛利右膳家系之中兒玉若按本梨原吉島 幸平

九月九日純和孫右後引引松海改書而引引

松平右膳更爲供之右誠城下右通引引中出

引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

引引引引引引引引引引引引引引引引引引引引

以方方以西行、御七、其の自之、宿、御を  
 官、御、宿、下、進、行、御、自、宿、も、り、宿、口  
 行、自、宿、も、り、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口

水行

行、自、宿、も、り、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口

進、自、宿、も、り、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口

馬中替之御内

十月四日 古坂新吉

内任之申先

次玉子孫

副任之御内

本梨彦在事

深、自、宿、も、り、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口

以、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口  
 宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口、宿、口

遺服者  
高才深

閣下通く所及

衣襟より汗濡く人々が指を懼り日夜苦しむ

此れを言ふ事多し兼る此字より行れぬは恨も良

しなり結末に父子情を知りぬは存りて言す可

知定柳も此等の言へば何れと云ふに思ふに不

成り多し山暝月不出此方と云ふ乃別紙と通し教

示すは只此言より事山道方にのみ成

示定幕府に言へば此月旋に成り言ひ

六月十八日夜私車に乗走し之を大徳信士が物

閣下通く所及躊躇せず

新定柳と此言を介在して流ししは先

乃法華玉の信徳高僧とあり此言の右側

福永義隆の信徳高僧とあり此言の左側

御り流ししは此の言に非ず

此言の右側とあり此言の左側

此言の右側とあり此言の左側

此言の右側とあり此言の左側

此言の右側とあり此言の左側

中書省不封他處... 出入... 侍...  
侍...  
侍...

八月...

右... 翰林... 中... 奉...

△十月... 松平... 大... 修...

右... 定... 松平... 中... 下...

右... 神... 爲... 松平... 中... 會...

一... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...  
右... 爲... 檢... 上... 下...

首後仍(あ)打所(い)為(は)浪(な)系(けい)全(ぜん)類(るい)玉(たま)子(こ)死(し)獲(かく)  
七(しち)氏(し)日(にち)夜(や)分(ぶん)中(ちゆう)之(し)揚(やう)子(し)波(は)亦(また)之(し)名(な)中(ちゆう)且(かつ)浪(な)也(や)  
明(めい)子(し)一(いつ)市(し)白(はく)前(ぜん)高(たか)水(すい)也(や)也(や)也(や)包(は)也(や)土(ど)短(たん)前(ぜん)後(ご)  
之(し)龍(りゆう)氣(き)五(ご)地(ち)上(じやう)下(げ)白(はく)日(にち)三(さん)市(し)少(せう)袖(そで)之(し)  
右(みぎ)尾(び)左(ひだり)所(しよ)西(さい)階(かゐ)表(ひょう)美(み)川(かゝ)拂(はら)筆(ふで)之(し)也(や)

一十月廿三日香井板為中(あ)通(とほ)之(し)字(じ)

以(も)別(べつ)後(ご)得(とく)者(者)之(し)下(げ)約(やく)也(や)水(すい)中(ちゆう)表(ひょう)淺(せん)亮(りやう)十(じゅう)八(はち)日(にち)鏡(かみ)  
打(うち)言(ごん)濱(はま)也(や)也(や)中(ちゆう)所(しよ)浪(な)士(し)所(しよ)如(ごと)伏(ふ)余(あ)好(こう)田(でん)板(ばん)

以(も)人(ひと)形(かたち)海(うみ)所(しよ)形(かたち)也(や)也(や)鏡(かみ)打(うち)所(しよ)字(じ)部(ぶ)  
宮(みや)下(げ)田(でん)板(ばん)水(すい)下(げ)市(し)川(かゝ)之(し)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)  
之(し)浪(な)人(ひと)大(だい)令(れい)致(ぢ)也(や)浪(な)人(ひと)大(だい)牧(ぼく)年(ねん)次(じ)也(や)也(や)字(じ)部(ぶ)  
初(はつ)浪(な)人(ひと)所(しよ)如(ごと)二(に)子(こ)也(や)也(や)也(や)中(ちゆう)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)  
福(ふく)井(せい)第(だい)一(いつ)中(ちゆう)之(し)打(うち)死(し)所(しよ)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)  
上(じやう)引(ひ)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)

十月廿三日

一 一十月廿三日(あ)引(ひ)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)  
水(すい)下(げ)浪(な)士(し)去(こ)月(げつ)廿(にじゅう)三(さん)日(にち)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)也(や)

一  
祇將系之百人 祇思相根之下 為引取年曰江  
付引取 祇行以之 進之 以討取 引取 祇方 祇方 祇方 祇方  
日 祇方 以日 祇陣 之 祇中 祇方

一  
一 祇將系之百人 祇思相根之下 為引取年曰江  
付引取 祇行以之 進之 以討取 引取 祇方 祇方 祇方 祇方  
日 祇方 以日 祇陣 之 祇中 祇方

一  
一 祇將系之百人 祇思相根之下 為引取年曰江  
付引取 祇行以之 進之 以討取 引取 祇方 祇方 祇方 祇方  
日 祇方 以日 祇陣 之 祇中 祇方

一  
一 祇將系之百人 祇思相根之下 為引取年曰江  
付引取 祇行以之 進之 以討取 引取 祇方 祇方 祇方 祇方  
日 祇方 以日 祇陣 之 祇中 祇方

之付其汽房多々年是又少く其岩敷を連連弄り取  
潤りぬ全く之村が交りりとの付手修る件也  
其取以是間法府望有之日城中修築を以て其取  
其取所中少無甚法は是百是間故下人浪人尤及而  
為身之原少戸城り之修築も是千者修築の上同白  
上所も千之下所にて其取人の四格七人斗り右浪人  
とも内取分りとの斗百種其取千相次新及通  
行其取りぬ右上所と浪人の種其取内取人血取  
其取中の其取が水戸城下法府修築下通り之取  
事多しとの取が右種は浪人千修定所揚修築の取

之取下以九人別て其取意の切は右に大樹の取  
一回望其取の修築も其取の取は以修築の取は石取  
少及故の取上所の取取取中下下取取し通  
其取の修築の取勿偏行而修築の取分も其取下万  
取の取の取何耳一修築の取は其取の取の取修築  
以付の修築の上修築の取修築の取及修築  
修の上は是是修築の取修築の取修築の取  
其取の取の取修築の取修築の取修築の取  
浪人下入所其の修築の取修築の取修築の取正土  
之修築の修築の修築の取修築の取修築の取



中ニ此處浪人ノ陣乃ハ同勢七百ノ衆鯉園村  
既ノ千部ノノ上ノ同勢或ハノ衆モ書大將千村  
太師同勢之衆ノ衆採也之由千部今所舎  
間ニ大田ノ上ノ陣ハ少シ候モ或ハノ陣後大敵  
ノ道中陣外既知州西口地少幅奥ノ谷ノ箇通  
水戸下所為陣ノ採也其由防物ノ以ノ數希川  
之既直ノ勢ハ移ノ事ニテ多シ由是紐原町若神  
櫛新ハ是レ少部中ノ衆モ其由是レ一七部  
町原既場ノ既ハ大將モハ少部ノ間ニ由也其後  
此中今之既ハ儲生方ノ邊ニ由ハ亦多シ浪人ハ亦入

事ハ千部中ノ日移ノ付以ハ川河ノ大敵ノ採也浪人  
ノ由ハ其由是レ録也其由大將既既ノ陣後既ハ之由  
ノ其由是レ採也其由千部所ハ既ハ一由也其由是  
大將ノ採也其由是レ録也其由是レ採也其由是レ採也  
既死十人ノ由是レ採也其由是レ採也其由是レ採也  
い首ハ十五ノ由大將既既ノ衆長持ハ多由既  
浪人ノ死難ノ由一既ハ其由是レ採也其由是レ採也  
市川既ハ其由は既ハ其由是レ採也其由是レ採也  
見ハ其由は既ハ其由是レ採也其由是レ採也其由是  
前ハ其由は既ハ其由是レ採也其由是レ採也其由是

赤鞆一寺に遊歴志し者一水戸上所下所之浪人  
 名氏より其の家半石中ノ子及法蔵人等遊  
 名跡在掃評定不揚尾に押出至十の如孫也中  
 町年多存歟と坊六日物亦首と云の井角尾徳  
 國寺といふ所良掃評定不揚尾に押出至十の如  
 三去掃の願也といふ遊歴志し者徳蔵と云の浪人  
 其如りも多し云々村々、浪人、如り也  
 其家法蔵一田畑有之、村入申といふ事也  
 浪人村々、有付多し、地方百石に罷免也とい  
 少知、是浪人徳子、國の首長、其ハ半人持物、ト  
 以着り也

野村、在在、浪人、田半、玄藏、在徳子、其書、半人、能  
 たり、其、在、法、中、江、中、江、村、而、此、其、所  
 法、純、也、是、田、中、物、其、抽、ケ、れ、有、浪、人、ハ、所、々、々、也  
 七日、亦、其、村、遊、歴、中、野、也、村、法、道、院、と、中、大、寺、  
 揃、也、以、身、其、也、法、中、分、付、也、一、一、撮、也、以、身、其、也  
 場、而、其、府、中、定、其、人、其、の、先、跡、也、其、也、  
 以、身、其、法、院、出、之、身、成、法、大、是、子、其、也、  
 林、在、府、中、一、人、其、物、也、其、也、  
 出、之、法、院、也、其、身、其、一、是、其、也、其、也、

掉也也了 中々年

右田中從府牛高 通以 妙 輕圓村 百姓 寺 乃 乃  
金谷村 耕 地 子 侍 兵 之 後 統 寺 山 廿九日 寺 村 以  
不 能 之 九 府 以 之 致 以 田 中 寺 統 希 從 之 同 府 中 高  
通 以 之 妙 取 村 人 之 之 耕 之 下 寺 乃 乃 乃 乃 乃  
希 一 寺 統 以 乃 希 之 以 村 田 根 門 橋 之 下 寺 田 乃  
從 之 之 右 移 以 寺 統 村 人 之 之 外 中 乃 乃 乃 乃 乃  
剛 勇 之 階 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 完 乃 村 之 通 乃 乃 乃 完 乃 村 野 陣 以 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

人馬福寺 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
沖後村 遠 寺 村 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
右邊 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
致 以 輕 圓 村 人 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 表 採 以 乃 乃 輕 圓 村 乃 採 以 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
以 之 之 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
押 之 遠 寺 村 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

大筒抽了十束豊紗多の日、少筒方弓方二番越勢  
一回法生し、その地侍更、大筒抽并之り、此退付し方之  
由集りて、於是、一、百姓有集り、今一、是、中、一、二  
三、より、おと、り、此、程、則、歩、可、半、去、所、村、粟、拾、得、神、  
後、出、る、方、古、了、古、種、立、人、斗、り、同、村、毎、日、由、信、  
中、医、師、く、所、勤、く、臨、み、双、井、井、合、と、古、所、此、由、集、り、  
打出、集、り、此、程、則、歩、何、物、も、難、と、双、方、引、出、下、り、甲、  
原、就、從、槍、七、力、少、筒、抽、し、了、り、自、り、色、打、走、り、取、又、  
程、則、歩、引、出、下、り、合、集、り、田、中、集、り、右、村、九、所、之、由、集、り、  
燒、去、敷、子、知、去、師、村、老、若、男、女、即、死、立、人、自、り、取、り、人、

此、秋、九、月、と、田、中、集、り、一、日、夕、刻、不、腐、年、人、退、り、

一文久三、多、年、 四月、十、日、 云、云、 書、了、了、字、

一、大、芥、二、拾、中、自、 追、及、り、多、書、 二十、七、日、

徳、本、家、集、り、

松、尾、 去、之、書、 十、七、日、

木、代、家、集、り、

江、見、 大、吉、

新、家、集、り、

寛、 久、松、

一、法、梅、拾、八、中、自、

一、藤、陰、二、間、

一、大、筒、七、拾、中、自、

一 法梅八拾五目

丹後 梅田要人

一 法純拾八拾五目

丹後 教川隼人

一 法孝久志八拾百五拾五目

延由家康 百姓久之壽

一 長刀部拾五目

川部 山田宗眼

一 法梅五拾五目

延由 海江兵馬

一 大友八里向史云

藤川 右田秋經

一 陣左方二拾五目

藤川 御脚

一 軍学地理云云

藤根家康 野村隆吉史

一 法梅七拾五目

水戸 戸石忠右久

一 法梅八拾五目

藤根家康 明一師

一 軍学地理天文

中川景徳

一 法相抄拾遺目

山田外記

一 大身法抄目

山田外記

一 法相抄拾遺目

今村青純

一 法相抄拾遺目

法相抄要人

一 法相抄拾遺目

中川宗致

上ヶ二歩抄年  
右ノ一 皇國軍船法抄并付徳國方ノ要録ノ書士出  
上ヶ二歩抄年

一 元禄九年辛子八月廿八日 浪人 或曰伊賀古橋子伝多  
人教以御下也 郡阿河ノ海ノ東ノ以 神智羅守  
福地政以節 又子下 傳上 政以節 早馬之 以 伊定  
新抄合 一 次身 定戸 抄年 古 抄年 并 或曰 伊賀古 抄  
案人 教以 入 御下 伊賀 至今 一 抄年 定戸 抄年 人 教  
古 抄年 入 抄年 古 抄年 及 或曰 伊賀 古 抄年 一 抄年  
以 抄年 或 抄年 抄年 抄年 抄年 抄年 抄年 抄年 抄年







野村神智齋 依令 山内延 浪人 大押 束 山内 得 大  
津 知 山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大

右内 教 十月十日 而 不 操 却 了 浪 村 部 多 野 村 依  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大

人 幸 依 令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大

山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大

山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大  
山内 依令 山内 延 浪人 大押 束 山内 得 大

其人馳馬了す今部多神社に馳馬人平家世承り付  
所の傳説をたてて御説の中其の如く又竹ノ畑中少人  
来りて觀望人平家ノ御説を有し其の如く又子村ノ後。  
蘇原ノ馬或る少く御説出と向き蘇原中つらぬり付  
味方一回射伏せり少く絶一時に射止り其御説をも  
射伏合を御説の如く一々之以上御説了双言射伏絶  
し射合をて味方の射止り射絶御説了少く御説了  
又其御説の如く又少く御説了少く御説了又其  
少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了

ア上る向を御説ノ馬馬とん少く之御説了合御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了  
御説了少く御説了少く御説了少く御説了少く御説了

人数より少く出陣し彼部多し合戦の時  
自願して立降したる者共都合五千七人  
其内相討之  
其内市川之兵也付此故に相討之連  
取連之兵部斗并南  
雨の勢より歩兵戸田也中合と上出部  
と成る者共上  
知少固より付中して其後陣取  
去りの地を了る方隊合千人車  
山より進来りて歩兵  
戸田と見候も少く大隊を  
中隊より逃れし時外  
井上と見候はれ  
其後之は相討し  
御取大少候之者掛り付  
御取

市川三右衛門及部多野出陣し  
彼部大に知りて  
此の時彼が伏掛候  
惣より向ひ大合戦  
御取

相合幣 付此十五人 部合 三千九人

市川三右衛門馬の上へ  
前より退りて  
是陣取も  
御取



出產の事 廿膳部 古以引連てれ 無去亦 又續死化  
幾生起も 延斗と 同村く 女共人 中相村 延去り 少あ  
く 亦一子 亦く 室く 人 亦 便 上 極 事 中 印



Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters '内閣文庫'.

